

北九州市エコタウンセンター 指定管理者検討会 会議録

- 1 開催日時 平成 30 年 10 月 17 日（水）13：30～15：30
- 2 場 所 AIM ビル 313 会議室
- 3 出席者 （検討会構成員） 二見構成員、泉構成員、松本構成員、
西構成員、山崎構成員
（事務局） 環境局環境産業推進課長、環境産業政策係長
- 4 会議内容
 - 構成員の紹介及び互選により座長を選出
 - 当日の配布資料・議事次第等について、事務局より説明。
 - 検討会の位置づけ及び選定基準、採点の注意事項について、事務局より説明
 - 提案書の概要等について事務局より説明
 - 応募団体からの提案説明及び構成員によるヒアリング
 - （構成員） 団体概要では職員数が 5 人となっており、一方、提案書ではセンター長を除いて 8 名の体制となっている。人員配置について確認したい。
 - （応募団体） 現在の 5 人の職員は高いスキルを持っているので、中心的な役割を担い、後の 3 人は募集と試験により採用する予定である。
 - （構成員） 自主事業であるグッズ販売について、特に市外からの来館者の需要はあると思うので、少し具体的な取り組みを教えて欲しい。
 - （応募団体） 現在でも少量のグッズ販売は行っているが、利用者により喜ばれるよう、販売グッズの充実を図っていきたいと考えている。
 - （構成員） エコタウンセンターを見学する際に昼食をとる場所がなくて困るという声がある。今回の提案書には昼食スペースの確保が盛り込まれているが具体的な取り組みについて伺いたい。
 - （応募団体） 現在でも中庭は利用できるが、雨天時の昼食場所がないため、屋根付きの場所を確保して、提供したいと考えている。
 - （構成員） 収支計画中の人件費が年々少しずつ上がっているが、この要因は何か。
 - （応募団体） 職員は現在、非正規職員であるが、次期指定管理者に選定された場合には、全員を正規社員に切り替えたいと考えている。金額が上昇しているのは、毎年度いくばくかのベースアップを見込んでいるため。
 - （構成員） 経費の管理は月次で行うのか、週毎で行うのか。また誰が行うのか。
 - （応募団体） 経費管理は日々行う。センター長が経理を統括し、出納責任者を 1 名、その下に経理担当者を 1 名置き、3 名体制でチェックを行う。
 - （構成員） 市外・海外からの利用者を増加させるため、環境ミュージアムとパッケージ化したプログラムを市に提案とあるが、具体的にどう取り組むのか。

- (応募団体) 環境・リサイクルの実際のフィールドを体験できるエコタウンと北九州市における環境の取組みの歴史や背景といった導入部を学べる環境ミュージアムの両輪が揃う自治体は他にないため、これをセットにして市外や海外、特に需要が高いと聞く ASEAN 地域にアピールしたい。そうした地域への直接のルートはないため、市と連携していきたい。
- (構成員) 関連して、館内の展示物や設備の英語表記はどのようになっているのか。
- (応募団体) 各セミナールームや展示ルームのエコタウン事業の紹介パネル、トイレ等については現在でも英語表記がなされている。
- (構成員) スタッフの能力向上を図る取組みについて、来館者の属性や目的に応じて説明内容も変わると思うので、例えば日本のエコタウンの中での北九州のエコタウンの位置づけや、海外から見た場合の日本のエコタウン事業の特徴など、そうした点を踏まえたスキルアップを図って欲しい。
- (応募団体) 現在でも、児童・学生、企業、一般市民、行政、市内外、海外など、それぞれの見学者の属性や目的に応じた説明・案内は行っており、今後もより進めていきたい。
- (構成員) 現行の指定管理者のアンケート結果は良すぎて参考にならないので、アンケートの内容をより細かなものにするとか、対象によって変えるとか、潜在的な不安を引き出すような聞き方にするとか、具体的な改善方法は考えているのか。
- (応募団体) より利用者の声を汲み取れるようなアンケートに改善したいと考えている。具体的な変更については今後市と協議していきたいと考えている。
- (構成員) 新規取り組みとして、各エコタウン企業の専任担当者を配置し、サポート体制を強化とあるが、窓口をそれぞれ1名に集約するという事か。
- (応募団体) 各企業の担当者とのコミュニケーションを密にすることで、見学者に新鮮でタイムリーな情報提供を行うなど、企業の生の声を反映していきたいと考えている。
- (構成員) エコタウン企業合同会社説明会という新規取り組みが挙げられているが、どの程度の実現性をもって考えているのか。
- (応募団体) エコタウン企業と話をする中で、やはり最大の課題は人材確保であるという声をよく聞く。そうした企業の課題解決に向けて、合同会社説明会やインターンシップを市に働きかけていくことなどにより、何とか役に立ちたいと考えている。
- (構成員) 熱い思いでという発言があったかと思うが、現在の指定管理者と比べてどういうところに違いが出てくるのか。
- (応募団体) 熱い思いという言葉の背景について、我々は、以前は現指定管理者であるひびき灘開発に雇用されており、仮に指定管理者でなかったとしても、会社の傘の下で安泰であったが、現在は、この一般社団法人に非正規で雇用されている身分であり、指定管理者に選定されなければ路頭に迷うこともあり得るという点で、背水の陣で臨んでいるということである。
- (構成員) 今回の提案は、市の要求水準を十分超えているという認識なのか、それとも、とりあえず要求水準を満たそうとしたというものなのか。
- (応募団体) 市の仕様書をはるかに超える水準の提案であると自負している。

- (構成員) 新規の取組みを数多く提案している点は大変意欲的だと思うが、これらは全て来年度から取り組むものと理解してよいのか、それとも年度計画のようなスケジュールがあるものと受け止めればよいのか。
- (応募団体) 今回の提案には 30 項目以上の新規取組みを掲げている。これらを全て初年度に実施するという事は厳しい点もあるので、5 年間の指定管理期間内にスケジュール感をもって達成していきたい。
- (構成員) 光熱水費の予算をこれまでの実績よりかなり下げているようであるので、この点について伺いたい。また、休憩室の新設といった取組みは、指定管理者側が行うのか、あるいは市にお任せした上での提案ということになるのか。
- (応募団体) 休憩室については、館内に未利用な空間もまだあるので、そうした場所を活用したい。光熱水費については、トイレが節水型のものになることと、照明や空調の管理をより厳しく管理することで下げている。

○ 構成員は、提案概要のヒアリングと質疑応答を受けて各自得点を記入し発表。その後、構成員全員で意見交換

- (構成員) 理念については、将来ビジョンと意思が感じられたので、優れていると評価した。
- (構成員) 辛くつけ過ぎたかなという気はするが、理念については適正との評価で、目的達成に向けた取組みについては評価を一段上げたい。
- (構成員) 人的基盤については不確かな点もあるが、コアになるものはあるので心配することはないと考えている。
- (構成員) 利用者の満足向上に向けた新たな取組みが提案されており、これが実行されるものとの期待も込めて評価した。
- (構成員) 自然災害発生時の見学者の誘導や退避ルートなどについては、十分な確認ができなかった。

○ 審査項目「指定管理者としての適性」について協議し、各構成員の評価レベルを再度確認したうえで、検討会としての評価レベルを、「(1) 施設の管理運営に対する理念」は 4、「(2) 安定的な人的基盤や財政基盤」は 3、「(3) 環境分野に関する取組みや実績、経験など」は 4 に決定

○ 審査項目「有効性」について協議し、各構成員の評価レベルを再度確認したうえで、検討会としての評価レベルを、「(1) 施設の設置目的の達成に向けた取組み」は 4、「(2) サービスの質の向上による利用者の満足向上」は 4 に決定

○ 審査項目「効率性」について協議し、各構成員の評価レベルを再度確認したうえで、検討会としての評価レベルを、「(3) 指定管理業務に関する費用」は 4、「(4) 収支計画の妥当性及び実現可能性」は 3 に決定

○ 審査項目「適正性」について協議し、各構成員の評価レベルを再度確認したうえで、検討会としての評価レベルを、「(5) 管理運営体制など」は 3、「(6) 平等

利用、安全対策、危機管理対策など」は3に決定

○ 合計得点を発表し、検討会としての総合的な所見について協議

- (構成員) 自然災害等に対する危機管理体制も十分確認する必要がある。
- (構成員) 資源循環・低炭素・自然共生からなるエコフロンティアパークの視点を事業に取り込んで欲しい。
- (構成員) 新規の事業にはスケジュール感を加味して取り組んでもらいたい。
- (構成員) 安定した指定管理業務が期待でき、関連業務への強い意欲も感じられるから、指定管理者として相応しいと考える。
- (構成員) オールエコタウンとして取り組む点が評価される。エコタウンセンターは交通の便等が悪いので、エコタウンセンターとタウンを繋ぐ取組みを今後検討してほしい。
- (構成員) 海外、特に ASEAN 諸国からの修学旅行を取り込んで欲しい。また、ガイド業務にあたっては、最新の環境政策を日々アップデートするようにして欲しい。
- (構成員) 来館者の属性などのデータをしっかり分析して事業に活かして欲しい。
- (構成員) 人的基盤については安心だが、経済的な基盤に関しては、収入をもっと増やすような仕組みを積極的に取り入れるべきではないか。エコタウン企業で構成されている団体であるという強みがなお一層発揮されると良い。

○ 検討会の審査結果として、今回応募のあった1団体は次期指定管理者の候補に相応しいと結論。市に報告し、検討会を終了した。